

# 関西化学研究所 津田サイエンスビルズ まちづくり協議会ニュース

発行所  
津田サイエンスビルズ  
まちづくり協議会  
〒573-0128  
枚方市津田山手2-9-5  
大阪大学内  
TEL (072) 858-5901  
FAX (072) 858-5904  
(題字：墨アーティスト 橋笠 幸三 書)



秋空の下、津田サイエンス・コアから眺める立地企業群

津田サイエンスビルズ(以下、津田ビルズ)は、大阪府枚方市の東部に位置し、86年に関西化学研究所が都市の一角として選定されました。自然環境豊かな地域に研究開発施設、教育施設等の集積を目指してスタートした壮大

## 自然環境豊かな地域で オンリーワン企業をめざす

なプロジェクトなのです。また、このエリアに接して第二京阪道路の整備も進められており、今後は、交通アクセスの利便性が飛躍的に向上することが見込まれています。現在18社1大学施設



津田サイエンスビルズ  
まちづくり協議会  
会長 佐々木 啓益  
(吉泉産業株式会社 代表取締役)

入、交通安全の確保、信号機の設定、

津田サイエンスビルズは、大阪府、枚方市、大阪府住宅供給公社及び(財)大阪府産業基盤整備協会が一体となって整備を進めてきたも

### 協議会ニュース 創刊に際して

ので、進出企業の数も19社を越え、あと3事業地を残すばかりとなりました。まちづくり協議会は、交通アクセスとしてJR津田駅より京阪バスによる巡回バスの導入、

置や、昨年8月は「まちびらきフェスタ」の開催などに取り組みできました。今後は、産学官の連携を密にし、新製品の開発に邁進し、また、学研都市の一員として革新的な文化技術情報を発信していかなければならないと考えています。

が入居し、全体区画の約9割が入居済みの状態となっています。入居企業が増加することで、相互に提携や協力が進み、事業規模を拡大する企業もあり、今後さらなる発展が期待されています。

平成19年度まちづくり協議会役員 (敬称略)  
会長 佐々木 啓益 (吉泉産業株式会社 代表取締役)  
副会長 能美 一夫 (関西化学研究所 代表取締役)  
総務局長 和泉 幸男  
まちづくり協議会事務局  
〒573-0128  
枚方市津田山手2-9-5 大阪大学内  
TEL 072-858-5901  
FAX 072-858-5904

## 津田サイエンスビルズの全景(航空写真)と 立地企業一覧名簿



立地年月日(平成)	企業名(代表者名:敬称略)	電話(局番072)	事業内容
2年 7月	株式会社イオン工学研究所 (代表取締役社長 性西 裕之)	859-6611	イオンに関する研究や研究開発受託、技術情報の提供
12年 4月	大阪大学大学院工学研究科 自由電子レーザー研究施設 (施設長 堀池 寛)	897-6410	自由電子レーザーの装置及び、利用技術に関する研究開発を実施
14年 8月	三晶株式会社 (代表取締役 高村 恒一)	808-0070	食品用添加物、工業用薬品の輸出入・並びに国内販売および研究開発
16年 5月	株式会社アスタ (代表取締役 山下 篤哉)	808-5555	精密部品機械加工
16年 7月	株式会社伸和製作所 (代表取締役 能美 一夫)	808-5111	油圧・ディーゼルエンジン部品 精密機械加工および組立
16年 10月	株式会社プルミッシュ (代表取締役社長 吉田菊次郎)	897-1160	洋菓子商品開発製造販売
17年 4月	吉泉産業株式会社 (代表取締役 佐々木啓益)	808-3003	食品用機械製造販売
17年 7月	株式会社坂本設計技術開発研究所 (代表取締役 坂本 喜晴)	897-5311	自動車用プレス金型の設計・モデリング・NCデータ作成 塑性加工技術・鋳造技術など新産業技術の研究開発
17年 8月	高園産業株式会社 (代表取締役 園部 経夫)	808-0200	医療機器製造販売
17年 10月	株式会社清和光学製作所 (代表取締役 岡崎伊佐史)	808-0550	光学機器開発、光学機器を用いた装置開発
17年 10月	株式会社サワーコーポレーション (代表取締役 澤入 精)	859-8800	表面実装等の精密洗浄装置の製作
17年 12月	株式会社河内金属製作所 (代表取締役 岡 晋三)	808-3331	精密部品切削加工
18年 1月	香椎化学工業株式会社 (代表取締役 原田 浩之)	896-1001	化粧品・医薬部外品に関する新商品の研究開発と化粧品等の製造
18年 7月	株式会社キタムラ (代表取締役 北村 伸一)	808-5811	船舶ディーゼルエンジン部品、各種機械部品製造
18年 9月	日本インバータ株式会社 (代表取締役 横井弥壽雄)	897-6210	駆動用インバータ製造・開発
19年 3月	株式会社カナエ技研 (代表取締役 竹内 順一)	897-3010	回転工具の再研磨機の開発とPCでの工作機の制御ソフト開発等
19年 5月	植田工業株式会社 (代表取締役社長 植田 守)	808-3800	自動車部品、弱電部品、およびあらゆる部品のプレス加工、金型設計製作
19年 5月	坂本精器株式会社 (代表取締役 松村 敏男)	858-5001	金属パイプ加工、可動式浄水機等の開発、製造
19年 8月	株式会社島川製作所 (代表取締役 島川 憲三)	822-8515	工業用乾燥機、酸化エチレンガス処理装置等の開発、製造
(開所予定) 19年 12月	株式会社枚方技研 (代表取締役 森山知佳津)	849-3110	精密機械および車輛機装等の設計・製造に係る研究開発
21年 1月	森下仁丹株式会社 (代表取締役社長 駒村 純一)	(06)6761-1131	医薬品、医薬部外品、医療機器並びに食品等の商品開発、研究開発
22年~23年	大阪府立技術専門高等専門学校(建設予定)		教育施設

# 「津田ヒルズ」まちづくり協議会臨時総会の開催

6月27日

去る6月27日、「津田ヒルズ」まちづくり協議会臨時総会を開催しました。

最初に、枚方警察署の生活安全課防犯係の警部補・山根二雄氏から

枚方市内の19年1月から5月までの犯罪発生状況の報告があり、まちづくり協議会からは、夏の土・日の夜間の暴走族対策について要望しました。今後、安全で

住み良い地域社会の形成は、警察とまちづくり協議会の各企業との連携が不可欠であり、「安心・安全なまちづくり」を目指します。

続いて佐々木会長から19年度予算計画と会費改正について提案があり、大阪大学内への事務所設置費用や年2回のまちづくりニュースの発行、公園、道路清掃作業の委託費、親睦のための従業員行事費などの予算に伴い、19年4月より月会費1万円の会費改正について全員のご了承をいただきました。

## まちびらきフェスタ開催

1500名参加 昨年8月26日 当地の空見の丘公園にて



(株)イオン工学研究所会議室にて各企業の代表者による意見交換を行う

## エリアの公園清掃活動を月一回定期的に行う

津田ヒルズでは、社会福祉法人くにも会「清水(せいすい)園」様のご協力の元、エリア内の公園や道路の清掃活動を月一回定期的に実施しています。猛暑の中、5人の作業に当たられる方と、施設の職員さんが午前9時から作業を始められ、午後12時にゴミの仕分けをして作業終了となりました。「家電製品

や大型ゴミが落ちていた」との意見が出されました。津田ヒルズで働く人や訪れる方が気になるように過ごせるように、皆様のご協力をお願いします。



社会福祉法人くにも会 清水(せいすい)園のご協力

(土)に開催されました。メイン会場「空見の丘公園」では模擬店などのイベントや、生バンド演奏(写真)コンサートなどが催されました。ヒルズリビングカフェでは、「サマー・ストリングスコンサート」も開催されました。生誕250周年特集「イオン工学研究所」は「ロボットの将来性」をテーマに記念講演が行われました。当日は、各企業の従業員や周辺の地元住民1500名の人々が参加しました。

# 大阪大学大学院工学研究科 自由電子レーザー研究施設



施設長 堀池 寛

自由電子レーザーの研究成果を結集し完成。こちらの施設は2000年4月に開設されました。「基盤技術研究促進センター」事業として、92年から97年まで5年間の歳月を経て、大

阪大学を始めとするわが国の自由電子レーザーに関する研究成果を集めて完成しました。「すべての物質は、それぞれに固有の色、吸収スペクトルを持っています。色こそがまさに物の本質でありましょう。それ

ぞれの物質に適應した波長の光を当てることにより、物質に固有の現象が誘起され、機能を制御することができます」(施設長の堀池寛さん) 本施設においては、大学における基礎研究を行うとともに、そこから生まれてくる成果を産業技術として実用化に結びつける開発研究をも実施するため、広く

産官学共同研究を推進していく予定です。

### 主要研究テーマ

- ① FESL生体相互作用
- ② コレステロールの選択的除去
- ③ 虫歯予防のための歯表面改質
- ④ 衝撃波を用いた遺伝子導入
- ⑤ 高効率生体分子構造解析



坂本設計でモデリングならびにマスターモデルを製作したオキシライド乾電池カチは平均105.95km/hを達成し、ギネス世界記録に認定された。

# 津田ヒルズ立地企業を訪ねる

## 当エリアに入居している企業の業務内容や社会的意義を順次紹介

## 株式会社 坂本設計 技術開発研究所



代表取締役 坂本 喜晴

塑性加工技術と新産業技術の研究開発

例えばたいやきの型一つでたいやきが何個でも焼けるように、家電製品、自動車、時計、カメラ、新幹線、飛行機など、同じものを大量生産する時に使われるのが「金型」。

「金型」は、製品の素材によって、プレス・プラスチック・ゴム・セラミックス・ガラス・鑄造・鍛造の8種類に分類されます。

同社はこの中の、プレス金型(主に自動車)製造に関する研究開発を行っています。自動車ボディ(足

回りを含む)の大部分の鉄部品はプレス金型で作られています。部品の材質・板厚・形はさまざま。もちろん一つ一つの精度は厳しく求められます。

- ① 2Dや3DCADを利用し、プレス金型設計、モデリング、NCデータの作成を行って
- ② モデリング・NCデータ作成・解析・シミュレーション・造形面の研究開発
- ③ デジタルモックアップモデル作製
- ④ 塑性加工技術の研究開発及びデータの蓄積。データベースの作成と応用
- ⑤ 知的財産の創造、保護の研究開発

主な事業内容

- ① 自動車・弱電・航空機・農機具・電車・軍需等のプレス金型設計及び研究開発

工機」で製作した検証用モデルを用いることで、イメージをより伝え易くし、設計者や制作者間のコミュニケーションの円滑化を図っています。

また地球環境問題への取り組みとして、大阪産業大学のソーラーカーや電気自動車の開発をバックアップしています(2005年にはシルクロード横断プロジェクトに参画)。